



2017年10月

第268号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 小口 多津子
副会長 並木 信一
書記 茂木 稔・山本 英次
会計 長谷川 あや子
ネット会長 辻 久子
担当主事 中里 敦
プリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清・多河 敏子
直前会長 中塚 辰生

国際会長 Henry Grindheim (ノルウェー) 主題 “Let us walk in the Light together” 「ともに、光の中を歩もう」
スローガン “Friendship across the borders” 「国境なき友情」
アジア地域会長 Tung Ming Hsian (台湾) 主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事主題 栗本 治郎 (熱海) : 「広げよう ワイズの仲間」
「楽しくなければ ワイズじゃない 積極参加で 実りある奉仕」
あずさ部部长主題 大野貞次 (東京西) 「継続は力なり、一歩でも前に、そしてあがこう」
クラブ会長主題 小口多津子 (八王子) 「無理なく、地に根を張って」

2017年10月例会プログラム

(中大ナイト) (あずさ部長公式訪問)

(担当 : C班) 山本、大久保、多河、福田、眞野

日時 : 10月14日 (土) 18:00~20:00

場所 : 八王子市役所北野事務所 2階大会議室

受付 : 坂本菜美、牧野充幸

司会 : 坂本菜美

開会点鐘	小口会長
ワイズソング	一同
ワイズの信条	一同
ゲスト・ビジターの紹介	会長
あずさ部部长挨拶	大野貞次部長 (東京西クラブ)
聖書朗読・食前感謝	原部佑基
会食	
卓話「AYCに参加して」	渡邊敦
「夏季ゼミに参加して」	斎藤晴樹
東京 YMCA 報告	中里敦 (西東京センター長)
報告・連絡事項	会長・担当
スマイル	牧野充幸
ハッピーバースデー	小口会長
閉会点鐘	会長

巻頭言

中央大学例会によせて

40数年前卒業の中央大学OB、

東日本区理事 栗本治郎

東京八王子クラブ・中央大学 YMCA の合同例会の開催おめでと御座います。

かねてより、中央大学Yの活動は学Yの中でも耳にすることが多くありました。特に、八王子ワイズメンズクラブとの繋がりが強く、例会にも出席されて良好な関係を続けていると聞き、大変うれしく思っております。

と申しますのは、私も中央大学を40数年前に卒業のOBだからです。ご存知の通り、ワイズメンズクラブはYMCAのためのサービスクラブとして活動をしているクラブです。

先月の例会ポイント (9月)		BF ポイント	
在籍	17名	切手 (国内・海外)	410g
メン	11名	累計	832g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	64%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	8,681円
ゲスト	1名	累計	14,587円
ビジター	1名		
ひつじぐも	1名	オークション	0円
		累計	0円

聖句

占星術の学者たちが帰って行くと、主の天使が夢でヨセフに現れて言った。「起きて、子供とその母親を連れて、エジプトに逃げ、わたしが告げるまで、そこにとどまっていなさい。ヘロデが、この子を探し出して殺そうとしている。」ヨセフは起きて、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトへ去り、ヘロデが死ぬまでそこにいた。それは、「わたしは、エジプトからわたしの子呼び出した」と、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。」

(マタイによる福音書2章13節~15節)

中でもユース活動の支援を主たる活動としています。ユースに対する活動としては、ユースボランティア・リーダーズフォーラム、国際・アジアのユースコンボケーション、YEEP（1年間の交換留学生制度）、STEP（短期交換プログラム）などがあります。しかし、ワイズとしては、これらの活動以上に普段からのユースの皆さんとの交流や協働活動をより強くしていきたいと考えています。皆さんは、大学を卒業し社会に出るとYMCA・ワイズとの繋がりが無くなりがちですが、ワイズは多くの町で活動をしています。是非、ワイズとの繋がりを続けて頂きたいと思います。私は、20代後半にワイズに入会してから30数年たちますが、ワイズに入会し多くの幅広い友人を持つことができ、YMCA キャンプ等の青少年支援活動を通して楽しく充実した活動を続けています。

9月例会卓話「食と健康」

～病気になる体を作る食生活のススメ～

久保田貞視

「食」では著名な学者で八王子学園都市大学でも講師を担当されている元戸板女子短期大学教授の星野厚子先生に卓話をお願いしました。

まず、星野先生が詳細なレジメを配布され、三国の糧飯の話から、クイズに入り、日本での健康県(長野県)、日本の平均寿命(83歳)、八王子市の平均寿命(2012年女84.9歳、男78.5歳)、八王子市の死因順位(23年度。悪性新生物、脳血管疾患、自殺、不慮の事故)日本人の健康寿命を縮める要因(生活習慣:煙草6.2%、高血圧5.9%、アルコール3.0%、肥満、野菜・果物不足、運動不足など)、糖尿の少ない県(愛知県)、肩こりの少ない県(山形県)、認知症の少ない県(神奈川、埼玉、山梨県)など参加者に回答を促し、本論に入りました。

①自分の体格指数を知る。

BMI(肥満度) = 現在の体重kg ÷ (身長mx身長m)の値が25以上は要注意。

②日本人の「寝たきり」の原因

脳卒中 40%、骨折・転倒 12%、リウマチ・関節炎 5%、心臓病4%その他

③動脈硬化・肥満を防ぐには生活習慣を改める事。

毎日の食事、疲労、痛飲、喫煙、運動不足

④洋風化の食事は脂質の過剰摂取が問題。

⑤「41歳寿命説」朝食の欠食、脂肪摂取増により中年男性の「肥満」、若い女性の「やせ」

⑥寿命をのばす食習慣

バランスの良い食事、食べ方の工夫

⑦病気になる体を作る。

食べ過ぎ、身体の冷え、水分摂りすぎ、運動不足、ストレス、環境汚染物質に留意する

—自分の体質に合わせた食材と身体のバランス

⑧食材の見分け方のポイントとして体を温める食材の特徴、体を冷やす食材の特徴、間性食材の特徴

⑨免疫力を高める食生活

正しい食習慣を守る、免疫力を高める栄養素をとる。

⑩「100歳まで元気に！」5つのポイント

血糖値を急に上げない食べ方、血管を若く保つ食材、免疫力を高める食材、脳を活性化する食材、長寿遺伝子に働きかける栄養素を知る。

特に、最後の栄養素として、肥満抑制効果のあるレーズン、アンズ、抗老化作用のある納豆、疲労回復効果のあるいか、たこ、しじみ。

健康長寿のためには、毎日の食生活・運動・心のあり方(ご機嫌でいること)が大切。



星野厚子先生を囲んで9月例会記念写真

世田谷クラブ音楽例会に参加して

福田勝江

9月20日未明、メキシコ中部が大地震に襲われ、建物が崩壊し、多数の犠牲者や怪我人が出た事をニュースで知り絶句致しました。

上記より5日前、メキシコ料理や音楽に甘美を味わいましたのに、このような事が起こり、筆が進みません。自然の猛威には勝てないのが現実です。

9月15日(金)世田谷クラブ音楽例会のお知らせをパソコン上で知り、早速小口会長さんに出席したい旨申し込みをお願い致しました。

当日は17時30分に下北沢駅改札口南側集合で世田谷クラブ

の小川さんがお出迎え下さり、例会会場のメキシコ料理店{デピート}へご案内頂きました。開店少し前でしたが、張替さんの案内で2階の会場へ入りました。店内には南米らしい装飾品が置かれ、オーナーのご婦人にいろいろご説明頂き、目を楽しませて頂きました。

本日の出席者が全員そろったところで、寺門会長さんの点鐘で開会になりました。小川さんの司会で出席者の紹介があり、東京たんぼぼクラブから3名、八王子クラブから4名、世田谷クラブから12名、ゲスト1名、ギター奏者2名の合計22名でとり行われました。ビールで乾杯の後、会食は本格メキシコ料理が次々に並び美味しさに舌ずつをうち、後半には可愛らしいグラスにテキィラ3種類が飲める方の前に置かれ、食事をしながら、{楽しいラテン音楽の解説と演奏を鑑賞}と題して、張替さんから詳しい説明を受けました。

ギター奏者3名は(張替さんを含む)学生時代から一諸にバンドを組み、活動なさっていたとの事で、息のあつた{ロス・コンパニエロス}の演奏は素晴らしく、張替さんの歌声は聴く人の心に深く染み入り、青春時代(今も)へと導かれ、郷愁に胸が締め付けられる思いで聴き入りました。

又{ラテンアメリカとは}のお話しも、事前にプリントして下さり、それに基いて詳しく説明があり、目からウロコのようなお話ばかりで、いかに理解不足か(私だけかも知れませんが...)明白になりました。

最近では{ラテンアメリカとカリブ海地域}と云う表現も用いられ、合計33か国から成り立って居る事も知る事ができました。ラテンと聞くとイコール情熱的だと思いがちですが、曲の中には悲しみと苦悩を表現されているものもあり、国境を問わず、人の感情は表現こそ違い、みな同じだと思つと、地球に住む人達みな仲良くしたいものです。

{ロス・コンパニエロス}お元気で何時までも演奏下さいますよう、陰ながら応援させて頂きます。又のライブ楽しみにしています。世田谷クラブも和気あいあいと楽しいクラブだとの空気を感じ、楽しい一夜を過ごさせて頂いた事に感謝申し上げます。又来て下さいネ! の一言必要ですネ!



東京たんぼぼクラブ例会に出席して

長谷川あや子

9月12日、部長公式訪問に伴い東京たんぼぼクラブ9月例会に出席いたしました。会場は山手センターの3階、ホテル学校でよく使われている教室ですが、テーブルもどっしりとして落ち着いた雰囲気でした。小原史奈子会長はじめ藤江さん、服部さんがいこやかに迎えて下さいました。入院中の越智さん、広義会員になられた中澤さんの姿が見えないのは寂しいことですが、3人のアクティブメンバーが元気よくフル回転で頑張っているらしいです。大野あずさ部部長、書記の神谷さん、会計の鳥越さん、会員増強主査の菰渕さん、東京西クラブ会長の本川さん、篠原さん、そして東京世田谷クラブから小原さん、岩崎さんが出席され、賑やかで和気藹々とした雰囲気の中で一言スピーチが続き、お待ちかねのオークションとなりました。お菓子やお酒、スカーフやハンカチなど女性らしい可愛い感じのものが多く、私も沢山買わせて頂きました。会員数7名のクラブでこんなに沢山の品物を揃えるのはほんなに大変だったでしょう。本当に感心いたしました。しかもリピーの支援のために使われます。明確な目的をもって活動してらっしゃるたんぼぼクラブの皆さまを心から応援いたします。

東京YMCA インターナショナル・チャリティーランに参加して

小口多津子

9月23日(祝)に第31回YMCAチャリティーランが木場公園内特設コースで開かれて、クラブから長谷川さん、久保田さん、酢屋さんと私とで参加してきました。朝早くから既にランニング体制の西東京センターの中里さんを軸に多くのリーダー、走者の子供、青年が集まっていました。西東京センターで1チームがエントリーして、わがクラブと武蔵野多摩クラブとで支援しています。

過去には、皇居周り、続いて代々木の神宮外苑で行われて、そして今の木場公園(江東区)の場所に来て10年余り。この大会の目的は、障がいのある子供達を支援すること(主な支援先は、YMCA 江東センター、しのめ YMCA こども園、江東幼稚園、山手コミュニティセンターなど)。会員だけでなく多くの企業がチームを作って参加し、スポンサーにもなっています。先日今年の報告が出されて、以下のようなものでした。

公式報告(会員部:小松さんより)

こどもラン 幼児~小学生450人 保護者を合わせて約700名 本競技 48チーム ランナーと伴走者で約300名 ボランティアとスタッフ 170名

応援の方々を入れると 合計 約1500名の来場者でした。また、総額約480万円が寄付されたとのこと(これはFBより)。

こんなに多くの人がああ会場にいたのかと思いました。私たちボランティアは、コース誘導の手伝いでしたが、目の前を通過する黄色いユニホームの西東京センターの子供達、伴走者には思いきりの大声を、それこそ1年で1回しか出さないだろうほどの大声で応援していました。閉会式では、順位の発表やラッフル券の当選発表が夕方の潮風の中で爽やかに終わりました。

西東京センター便り

中里 敦

先日行われた第31回チャリティーランに東京八王子ワイズ、東京武蔵野多摩ワイズの支援を受けて、知的障がい児者活動のメンバーが出場しました。48チーム中48位という輝かしい？成績でしたが、一人ひとり楽しみながら走りました。支えられるだけでなく、共に参加することがチャリティーランの意義を伝えることにもつながっていると感じました。このような機会を設けていただけたことに感謝申し上げます。

西東京センターでは、くつもの定例活動を行っています。『にこにこ』は幼児の『ロビンソン』は小学生の野外グループ活動です。自然体験、グループワークなどこの時期に大切な豊かな体験を通し、主体性を育てていくことを目的としています。『TeenS』は中高生の活動です。思春期の時期に仲間と過ごす楽しさを知り、自分の意見を出したり、自分で考えて行動しながら自分らしさを見出していく活動です。『Smile(スマイル)』は小学生～高校生までの発達障がい児の活動です。子どもたち一人ひとりの個性や考え方が大切にされ、楽しく安心して活動することができる居場所です。『造形あそび教室』は自然の素材を使って感じたこと、思ったことを工夫しながら形と色を作り上げます。子どもの手は魔法の手です。『あおぞら・つばさの会』、『シャベルズ・いづみの会』は知的障がい児者の余暇活動です。一人ひとりの余暇が充実することで日常生活が豊かになることを願っています。『さくら国立』、『ASC A』は発達に課題のある小学生から高校生が通うソーシャルスキルトレーニングです。日常での困りごとを成功体験を積みながら少しずつ課題の解決をしていきます。『まんた』は知的障がい児者の水泳プログラムです。水泳を通して身体を動かす楽しさや体力の向上をはかっています。

いずれも多くのボランティアリーダーの働きに支えられています。ワイズの皆様には、支えていただくだけでなく、西東京の活動や携わるリーダーを知っていただきたいと願っています。ぜひ、色々なイベントや活動にもご参加ください。お待ちしております。

中大ひつじぐも便り

中大ひつじぐも 1年 永吉真穂

8月14日から17日の四日間、栃木県那須塩原市にある、アジア学院のプログラムに参加させて頂きました。参加団体は、立教大学、清泉女子大学、京都上賀茂協会、中央大学の4つでした。中央大学からは、1年生が私を含め2人と、2年生が1人参加させて頂きました。アジア学院は正式名称を、アジア農村指導者養成専門学校と言います。この学校では、世界中から集まった学生たちが共同生活をしながら、リーダーシップや有機農業の方法など様々な事を学んでいます。アジア学院での1日は、ラジオ体操から始まり、様々な価値観の人々と協力しながら農作業や、掃除、食器洗いなどを行います。

今回私たちは4日間の滞在の中で、農作業や家畜の飼育などの活動を体験させて頂きました。私は農業体験は初めてだったので、現地の学生に教えてもらいながら活動を行いました。そこで私は、アジア学院での公用語である英語で、ブタの飼育方法を外国人学生に教えてもらうという貴重な体験ができました。

この貴重な体験を通して、英語で自分の伝えたい事が相手に伝わった時の嬉しさを、実感することができました。また、様々な人と協力して行った農業体験や家畜飼育体験から、多くのことを学ぶことができました。実際に育てる工程を体験してみて、普段何気なく食べていた豚肉や鶏肉にもちゃんと命があるということを実感しました。そして、私たちはそれらを食べること、つまりそれら生き物の命を頂くことによって、生きていることに気づかされました。生き物たちの犠牲の上で生きている自分や他の人の命を、大事にしなければならぬ、と思いました。この四日間では、このような活動に加えて、アジア学院で採れた野菜を使ったカレー作りやBBQ、田んぼの雑草とり、平和についてのディスカッションなどの活動を行いました。これらの活動を通して、他大学の人たちと仲良くなることができました。また、今後他大学との交流があるボランティア活動にも積極的に参加していきたい。そう思えるきっかけにもなりました。

このプログラムに参加して、本当に良かったです。これからは食べ物に、命を頂いているという感謝の気持ちを持って、生きていきたいです。

お話

クリスマスの時によく読まれるキリスト誕生にまつわる話です。イエスに危機が近づいた時に主の天使からエジプトに逃げろとお達しがあつたほど、エジプトはキリスト教にとって極めて関係の深い国でした。

8月26日にコプト正教会の首長アレキサンドリア教皇タワドロス2世(第118代)が来日されたので取り上げました。コプト教皇が来日したのは史上初めてです。キリスト教は広く流布している聖書によって伝道されていますが、その聖書に取り入れられなかった資料は異端視されたために次第に歴史上から消滅していったようです。しかし、1945年末頃アラブ人の農夫が上エジプトでその資料の一部を発見したのをきっかけに、「ナグ・ハマディ写本」と呼ばれる膨大な異端資料を得ることが出来、聖書研究に大きな影響を与えています。その資料がコプト語(エジプト語)で書かれているのです。

コプト正教会は肅々とその信仰を受け継いでいるのかもしれませんが、エジプトはキリスト教にとってまだまだ測りしれない宝庫と言えます。

仲田 達男

報 告

9月9日第一例会報告

- 卓話「食と健康」 星野厚子さん
 - ・ふるさとの食を拓く 八王子地区の昔の食事
 - ・糧飯(かてめし)が主流 おかずのいらぬ食事 炊き込みご飯の様な物
 - ・健康縣(平均年齢の長さ) 昔は山梨県 今長野県
 - ・肥満の少ない県 三重県
 - ・糖尿病が少ない県 愛知県
- 東京YMCAからの報告 YMCA本部 小畑貴裕さん
 - ・調査によるとYMCAの認知度が大変低い
 - ・そこでYMCAのブランド戦略を立ち上げた
 - ・新しいYMCAのコンセプトとロゴを作り、今年10月より使用を始める
 - ・全国的には来年4月1日より総て新しいロゴを使用する。
- 連絡事項
 - ・11月クラブ例会の変更 第一例会11月11日
第二例会11月18日
 - ・10月21日(土)あずさ部会 飯田橋 日本出版クラブ会館
部会:11:30より 懇親会:13:30より 会費6,000円 長谷川さんまとめ申込み
 - ・9月27日(土) 東京YMCAチャリティーラン 10:30～
木場公園
 - ・9月30～10月1日 富士山例会
 - ・10月1日(日)西東京フェスティバル わくわくビレッジ
13:00～17:30
- スマイル 8,681円 クラブより拠出1,319円 10,000円を九州北部豪雨支援募金として東日本区本部へ送金
- 出席者 ゲスト:星野厚子(卓話者)、斉藤道彦(中大名誉教授)
 - ビジター:小畑貴裕(東京YMCA本部)
 - メンバー:中塚・長谷川・小口・茂木・並木・望月・久保田・多河・福田・大久保・花輪 ネット:並木・久保田・大久保
中大学Y:坂本菜美

* 絹の道デイサービスセンター ボランティア*

- 【報告】: 9月27日(水) 14:00～15:00 ペーパーフラワー
参加者: 赤羽・石井・下重・多河・山中・茂木
- 【予定】10月は18日(水) ペーパーフラワー
14:00～16:00

*BF2017年9月報告

- 切手: 国内 379g (久保田、中塚、多河、眞野、長谷川、茂木) 累計 801g
海外 31g (久保田、茂木) 累計 61g
プルタブ 8.6kg (調さん、久保田) 累計 8.60kg

9月23日第二例会報告

- 10月14日(土)中大ナイト(第一例会) あずさ部長公式訪問
- 11月2日(木)～5日(日)白門祭ワイズ訪問予定
 - 2日 小口・多河・福田・花輪
 - 5日 長谷川・中塚・久保田・茂木
- 10月11日 西東京センター リーダー報告会
- 10月21日(土) あずさ部会 神楽坂 日本出版クラブ会館 部会 11:30～ 懇親会:13:30～
出席者 小口・長谷川・多河・久保田・茂木
- 11月11日(土) 第一例会
卓話者:加藤祐一さん カトー折り紙研究所
出席者: 小口・中塚・長谷川・久保田・茂木・多河・花輪
来年のDBC(2018年5月19～20日)の件では、
先日の提案、三島市の柿田川の湧き水の神秘的な景観。
茂木さんが下見
11月11日(土)第一例会の卓話者には、長谷川さんご推薦の加藤祐一氏 新折り紙・カトー折り研究所 考案・代表者、元目黒クラブメンバー
エコにも災害にも強いカトー折のお話。
- 中大ひつじぐも委員長の須郷君がSTEPで台湾を希望していることについて、第2例会で承認し、登録費用はクラブ経費で負担する。
- クリスマス例会は12月9日。時間は、クリスマス礼拝は午後5時から6時まで交友館です。懇親会は多目的ホール(元食堂)で午後6時半から9時までです。
受付は午後4時40分から、B班の担当者は受付、机の設置等
- 10月11日(水)の西東京センターでのリーダー感謝会は、武蔵野多摩クラブの例会ですが、八王子クラブとの合同例会となっているので、出来るだけ多くのメンバーに参加していただきたいこと、感謝会の差し入れとして両クラブから金10,000円を寄付することについて承諾しました。

西東京センターの行事予定

【11月】

3日(金・祝)「ペタペタの会」

今回は、鷹の台から小金井公園までを玉川上水ぞいに歩く予定です。紅葉とおしゃべりを楽しみながら一緒に歩きましょう。詳細はセンターまでお問合わせください。

23日(木・祝)「西東京センターのつどい」

詳細は後日お知らせします。ご予約ください。

特別寄稿

YMCA ブランディングプロジェクトについて

まちだワイスメンズクラブ
担当主事 小畑貴裕 様

2014年よりに日本YMCA同盟の中期計画の中で、日本YMCAのブランドについての調査、研究が進められてきました。この度「現代日本におけるYMCAのあるべき姿」を明確に提示して行く為に、全国のYMCAで統一して日本YMCA基本原則に基づく3つのコンセプトが明示されました。

【1】 Vision: YMCA が実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

「ポジティブネット」とは、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのことです。

【2】 Value: YMCA がステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かが見つかり、誰かとつながる。私ができる、かけがえのない場所。
「みつける つながる よくなる

【3】 Personality: ブランドとして備えているべき個性、らしさ 心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。

日本のYMCAには130年を超える歴史があります。その成果と価値を新たな未来へつないでいくために、YMCAは新たなブランドロゴを開発しました。是非、配布させて頂きましたブランドブックを再度ご覧いただければ幸いです。

新しい「ロゴ」にはYMCAが更なるステージへ向かって変化し、進化を遂げることを示しています。

「ロゴ愛称: ポジティブ Y」

鳥が飛び立とうとする瞬間の姿をモチーフにしたシンボル、それが「ポジティブ Y」です。一人ひとりの生命の息吹、未来へ向かう前向きな力、平和への想いを表現しています。右側にブランドスローガンを合わせたものになっています。スローガンの結びがコンセプトの「よくなる」から「よくなっていく。」としたのは、このメッセージを受け取った人に、「よくなる」ことに対する期待や、未来に向けた希望を感じて欲しいとの願いからです。

新しく発表されたロゴマークへ、日本YMCAブランドを集約していくために様々な変化があります。このブランドを大切にしていくことで、日本YMCAの運動の価値が高まり、YMCAを知らない方へもYMCAの価値をより明確に伝えていくことができると信じています。ワイスメンズクラブの皆様へもご協力をお願いいたします。

<11月例会卓話者>

加藤 祐一 氏

新折り紙・カトー折り研究所 考案・代表者エコ
にも災害にも強いカトー折のお話
(元目黒クラブワイズ)

高尾の森便り 10月号 所長 古市 健

朝晩はすっかり涼しくなり、盛夏の頃はあれだけ鳴り響いていた蝉の鳴き声もピタリと止み、今では秋の虫の鳴き声が涼しげに響いています。当館のスタッフも、衣替え前に先んじて長袖を着用するスタッフが増えてまいりました。ご来館いただくお客様の人数もやや落ち着いてきて、季節の移ろいを感じているところです。

さて、激動の夏をなんとかやり過ごし、9月もようやく終わろうとしています。夏の間は、ご家族や各種スポーツや音楽練習団体など、幅広く一般のお客様に多くご利用いただきましたが、今月は例年通り学校のお客様に多くご利用いただくことができました。中でも、お体などの不自由な特別支援学校のお客様の利用が多く、アレルギー対応など、通常の学校よりも更に神経を研ぎ澄まし、事故のないよう万全の体制でお迎えして参りました。今月のお客様のなかに、重度の小麦粉アレルギーで、口にすることはおろか、空中に浮遊している小麦粉に触れるだけで救急車を呼ぶような事態になると言われているお子様がいらっしゃいました。当館はレストランもあれば、各種料理をする調理室などがあり、小麦粉に触れてしまうリスクがあります。学校と緊密に連携を取りながらリスクの低減に努め、無事にそのお子様も全てのプログラムを終えてお帰りいただくことができました。後日、学校より感謝のお言葉も頂戴し、関わったスタッフとともに、喜びを分かち合いました。10月・11月と特別支援学校のご利用が続きます。引き続き様々な配慮をし、生徒さんの活動を支援してまいり所存です。

少しだけ先の話になりますが、11月には例年通りわくわくフェスティバルを開催する予定です。私どもスタッフによる様々なプログラム提供の他、日ごろ当館で練習なさっているお客様の発表の機会も提供させていただく予定です。しっかりと備え、今年も多くのお客様に笑顔になっていただければと、今から思いを強くしております。

10月誕生日の会員

小口 多津子さん 10月4日
辻 久子さん 10月29日